

# ネイチャーフロント米沢の皆さんと 吾妻連峰小凹湿原で植生回復活動を行いました

～置賜森林管理署～

活動日：令和6年9月14日（土）

活動場所：吾妻連峰小凹（こくぼ）湿原（置賜森林管理署管内 219 林班）

置賜森林管理署では、吾妻連峰における登山者の入り込み等により裸地化した箇所の植生回復活動を、米沢市と周辺地区の自然環境の保護・保全・環境教育のための活動を行っているネイチャーフロント米沢の皆さんと毎年共同で実施しており、今年は、ネイチャーフロント米沢6名、当署8名の計14名で、小凹湿原の裸地化した箇所に同地で事前に採種したヌマガヤ等の種子の播種を行いました。

播種作業は、予定区画に種類ごとに均等になるよう種子を散布し、その上に、種子の流出と夏場の乾燥を防ぐための植生ネットを2枚重ねで被せます。更に、植生ネットの上に春先の凍上防止のための菰を被せ、ピンで押さえます。

今回は、裸地化した箇所に設定した2m×2mの試験区2ヶ所に播種を行いました。作業中は幸い雨に降られることはなく、雲の合間から時折青空が広がり、高山の涼しい秋風を感じられる天気でした。

播種作業の後に、昨年度に同地で今回と同様の作業を行った2ヶ所の試験区を確認したところ、多くの芽生えを確認することができました。

置賜森林管理署では、小凹湿原を含む吾妻連峰における植生回復活動を、ネイチャーフロント米沢の皆様と協力しながら今後も引き続き取り組んでまいります。



播種作業



試験区に菰を被せる